

専門分野 I 基礎看護学 授業計画

授業科目及び時間数	看護概論 I 1単位 30時間		
開講時期	1年次 前期		
担当教員	吉澤 加代子	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>わが国の保健医療福祉の分野は、時代の変化とともに大きく変化し、保健医療サービスへのニーズも多様化している。迫りくる高齢多死社会を前に、看取りの場は、治療の場である医療施設から生活の場である介護施設や在宅へと一層変化していくであろう。それに伴い看護師は、病院などの医療施設で看護を提供する専門職に留まらず、地域での活動が必要になってくる。しかし、看護の場が多様化しても、看護師は「生」「死」「病」「生」に向き合う職業であり、人の人生の局面やその人の健康問題をその人と共に解決していこうとする職業に変わりはない。また、看護学概論は、入学後最初に学ぶ専門科目であり、各看護学の基盤となる科目である。そのため、看護の位置づけと役割の重要性を理解する必要がある。講義では、看護の歴史を概観するとともに「人間」「環境」「健康」「看護」の概念をキーワードに、看護の対象である人間を理解し、健康の概念、看護とは何かを学ぶ。そして、人が健やかに生きることを支えるための看護の機能と役割を学んでいく。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 授業ガイダンス 「看護」とは	講義	
2回目	1. 看護の概念と看護の理念 1) 看護の変遷 2) 看護の定義	講義	
3回目	1. 看護の概念と看護の理念 3) 看護の基礎理論 4) 看護の機能と役割 5) 看護の継続性と情報共有	講義	
4回目	1. 看護の対象である人間理解 1) 人間のこころと身体	講義	
5回目	1. 看護の対象である人間理解 2) 発達し続ける存在としての人間 3) 人間の「暮らし」の理解	講義	
6回目	1. 看護の対象である人間理解	グループワーク	
7回目	1. 看護の対象である人間理解	グループワーク 発表	
8回目	1. 健康とは 1) 健康の捉え方 2) 社会の変遷と健康観の変化 3) 生活と健康に関する統計	グループワーク	
9回目	1. 健康とは	グループワーク 発表	
10回目	1. 看護の提供者 1) 職業としての看護 2) 看護職の養成制度と終業状況 3) 看護職者の教育とキャリア開発 4) 看護師養成制度の課題	講義	
11回目	1. 看護における倫理 事例検討	講義 グループワーク	
12回目	1. 看護における倫理	グループワーク 発表	
13回目	1. 看護提供のしくみ 1) サービスとしての看護 2) 看護サービス提供の場 3) 看護をめぐる制度と政策 4) 看護サービス管理 5) 医療安全と医療の質の保証	講義	
14回目	1. 看護の活動領域 1) 国際化と看護 2) 災害における看護 看護とは (まとめ)	講義	
15回目	終了試験		
評価方法	筆記試験 70%・グループワーク取り組みおよびグループ発表の評価 20%・課題レポート 10%		
受講生に対するメッセージ	看護学校に入学し初めて学ぶ専門分野の科目です。看護の本質や看護理論など、目に見えない抽象的な内容も多く、難しく感じるかもしれませんが。丸暗記だけでは、わかりづらい内容が多いため、好奇心を持ちながら教科書や参考図書を読んでください。自己の看護観の築くための基礎科目になってもらいたいと考えています。 授業期間中に課題レポートがあります。指示された期間中に計画的に取り組むこと。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学① 看護学概論 医学書院		
参考書	ナイチンゲール＝看護覚え書 現代書 看護の基本となるもの 日本看護協会出版会		